



第2回保育審議会

令和6年7月30日(火) 午後6時30分～
於 国立市役所 3階 第1・2会議室



本日の内容

1. 矢川保育園の現状について
2. 第3回国立市保育審議会に向けて
3. その他



1. 矢川保育園の現状について

(1) くにたち子どもの夢・未来事業団事務局長から

(2) 矢川保育園園長から

2. 第3回国立市保育審議会に向けて

評価検証の方法について

- ①保育の質の確保・向上について
- ②民営化により生み出された保育人材の状況（人的効果について）
- ③民営化により生み出された財源を活用した新たな子育て施策の状況（財的効果について）



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

①保育の質の確保・向上について (評価の観点(案))

- ・公立矢川保育園の保育が事業団運営の矢川保育園にどのように引き継がれたか。
- ・市全体のモデルケースとなるような新たな保育・幼児教育の研究と実践の場になっているか。



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

①保育の質の確保・向上について (検証項目 (案))

- 1) 引継ぎのプロセス
- 2) 保育内容
- 3) 事業団による保育園運営
- 4) 施設管理(園舎・備品・ICT等)
- 5) 職場環境
- 6) 安全管理
- 7) 地域の子育て支援に対する取り組み

※上記について改善すべき点、評価できる点を出した上で検証を行う。



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

①保育の質の確保・向上について (評価の手段 (案))

- ・福祉サービスの第3者評価結果の分析
- ・現地視察
- ・アンケート

(民営化を経験した保護者、職員、民営化後より在籍している保護者職員を対象)

- ・直接ヒアリング
(事業団、民営化を経験した職員)



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

②人的効果について (評価の観点(案))

- ・民営化により生み出された人材を子育て・保育関連部署に配置したり、新たな役割を設けたりすることにより子育て・子育て支援体制の強化を図れているか。
- ・保育の引き継ぎに派遣職員をどう活かしたか。
- ・事業団への派遣や保育園以外の部署への配置により人材育成が図られているか。



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

②人的効果について (検証項目 (案))

- 1) 保育園以外の子育て関係部署への保育士配置数
- 2) 全庁的な職員配置の充実
- 3) 保育士の人材育成
- 4) 今後の働き方に対する職員の意識
- 5) 保育の引き継ぎへの貢献度



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

②人的効果について (評価の手段 (案))

- 1) 行政内部での資料作成
- 2) 職員アンケート



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

③財的効果について (評価の観点(案))

- ・矢川保育園民営化による市の財政効果額はどれくらいとなるのか。
- ・生み出された財政効果額を市の子育て施策の充実に活かすことができるか。



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

③財的効果について (検証項目 (案))

- 1) 民営化前後の矢川保育園決算に基づく市の歳出額及び歳入額の比較
- 2) 子育て施策のための財源活用状況
- 3) 2園目を民営化した場合のシミュレーション



評価検証の方法について(第1回資料再掲)

③財的効果について (評価の手段 (案))

1) 行政内部での資料作成



3. その他(スケジュールについて)

- 第3回 令和6年9月17日(火)午後6時30分～

審議内容：評価検証方法の検討について

場所：**国立市役所 3階 第1・2会議室 (変更)**

- 第4回 令和6年11月25日(月)午後6時30分～

審議内容：保育の質の確保・向上についての評価検証 (第1回)

場所：国立市役所 3階 第1・2会議室

※上記スケジュール、審議内容については現時点での案であり、今後変更となる場合があります。